命を守るされる件

郷谷地区防災計画(2020年版)



これは郷谷地区みんなの 「防災の約束」を決めた 大切なものだぽん! ふだんからよく読んで、 もしもの時に備えるぽん!

2020年5月発行 <郷谷地区区長協議会>

0	はじめに(郷谷地区防災ルール)・・・・・・・・・・・1
1	命を守る防災マップ
	◆ 全体版・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
	(地区版)
	◆ 瀬戸谷町・加法師町・・・・・・・・・・・・・・3
	◆ 若宮町・細内町・・・・・・・・・・・・・・・4
	◆ 当郷町(丸屋敷)・・・・・・・・・・・・・・5
	◆ 当郷町 (本郷・新田)・・・・・・・・・・・・ 6
	◆ 四ツ谷町・・・・・・・・・・・・ 7
	◆ 千塚町・田谷町・・・・・・・・・・・・・・・8
2	知る
	◆ いつ?どうやって?(避難の流れ・フロー図)
	地震編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
	◆ 助けが必要なかた(要支援者)への対策・・・・・・・・10
	一緒に避難する時のポイント・・・・・・・・・・11

郷谷地区は低地が多く、避難が必要な地域です! はやめに行動がとれるよう日頃からの心構えと準備を 一人ひとりがしっかりおこないましょう!

*ルール*1

情報は待つのではなく、 自ら積極的に収集する

11-112

災害時をイメージし、

避難場所・経路の確認、備蓄をする

11-113

日頃からご近所付き合いを深め、

もしもの時は、ご近所同士で助け合おう

11-114

水害時は命を守るため、自ら早めに避難する!

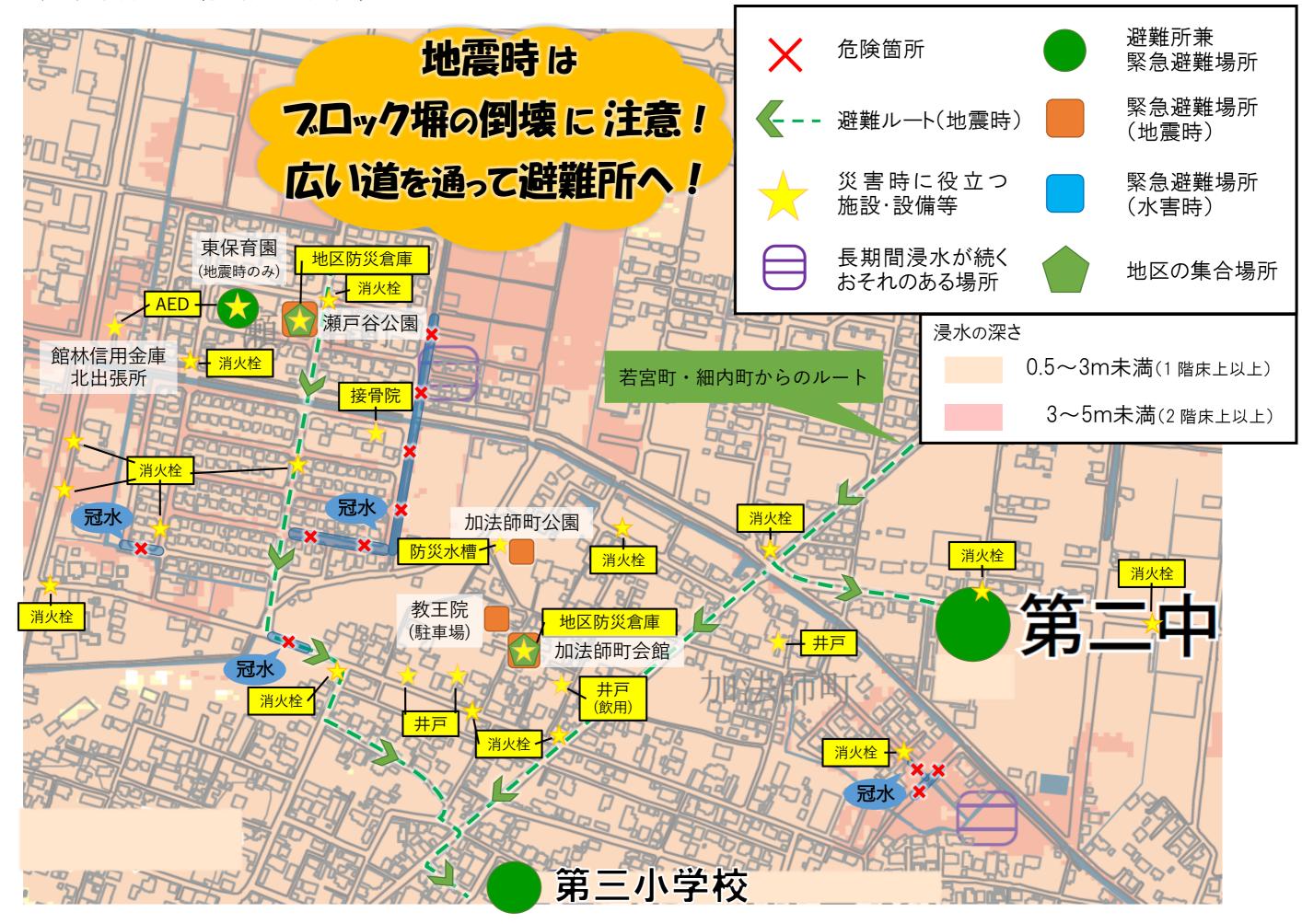
水害のおそれが高いとき、

避難準備·高齢者等避難開始

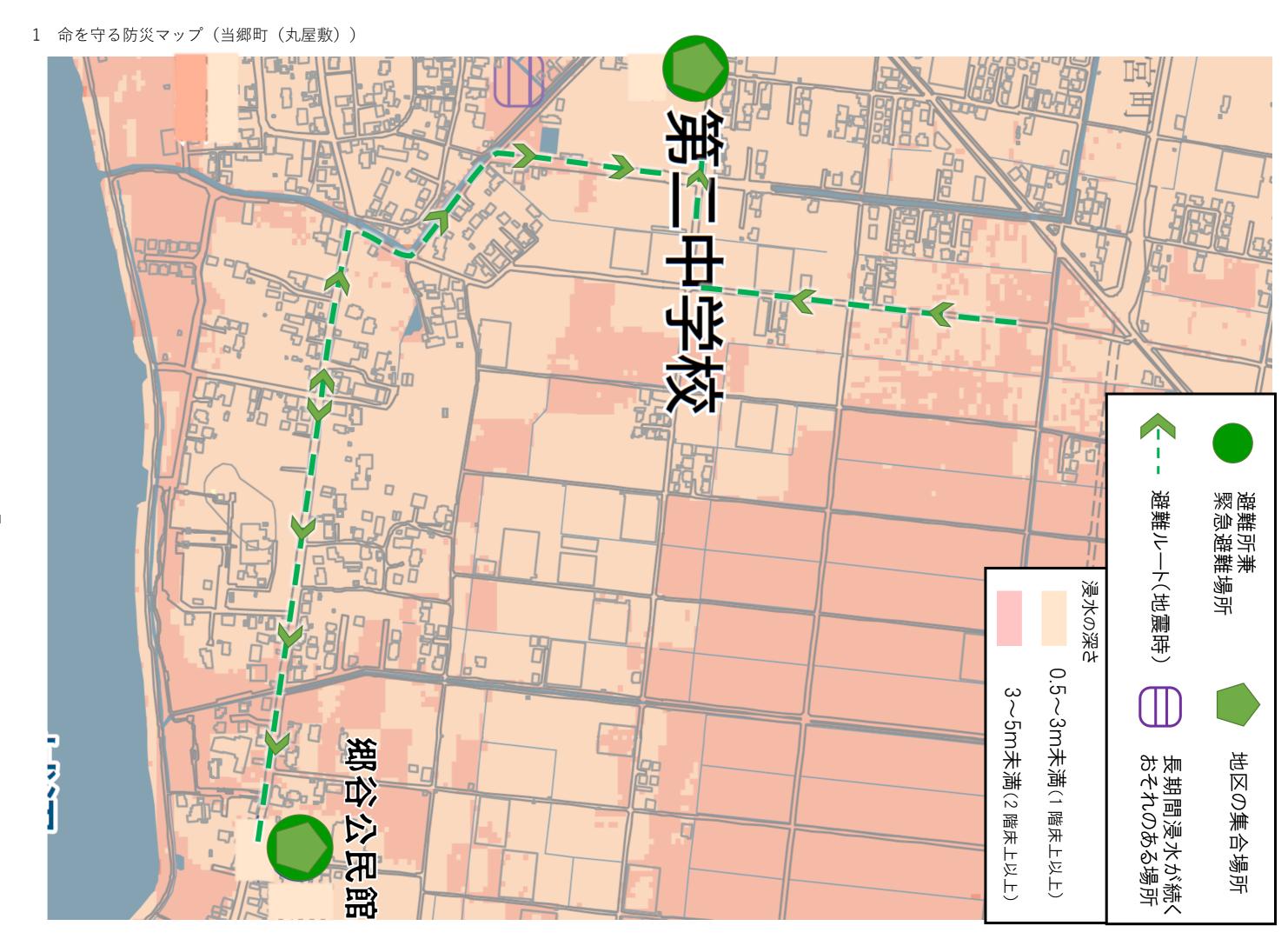
の情報を得たら!

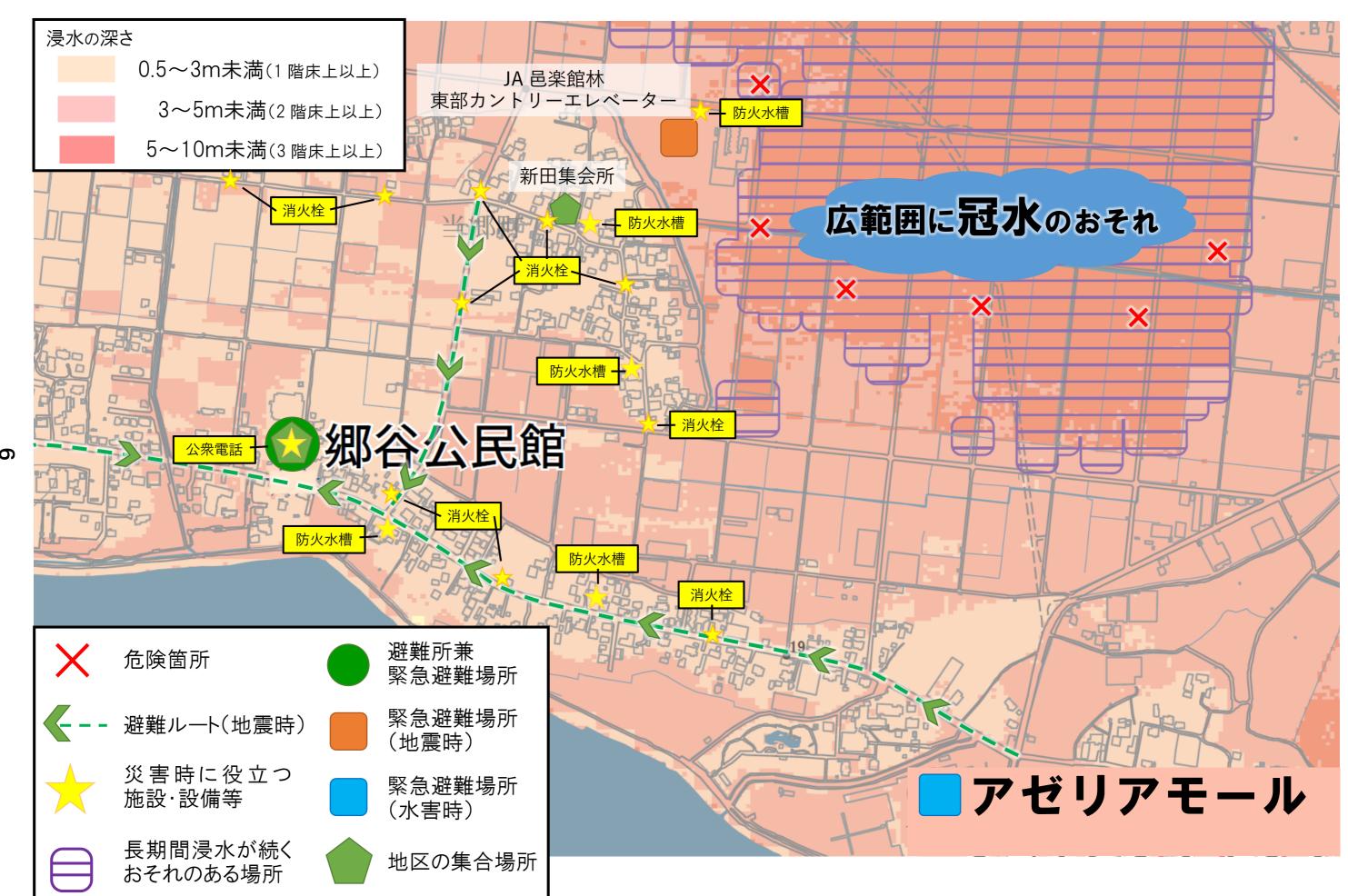


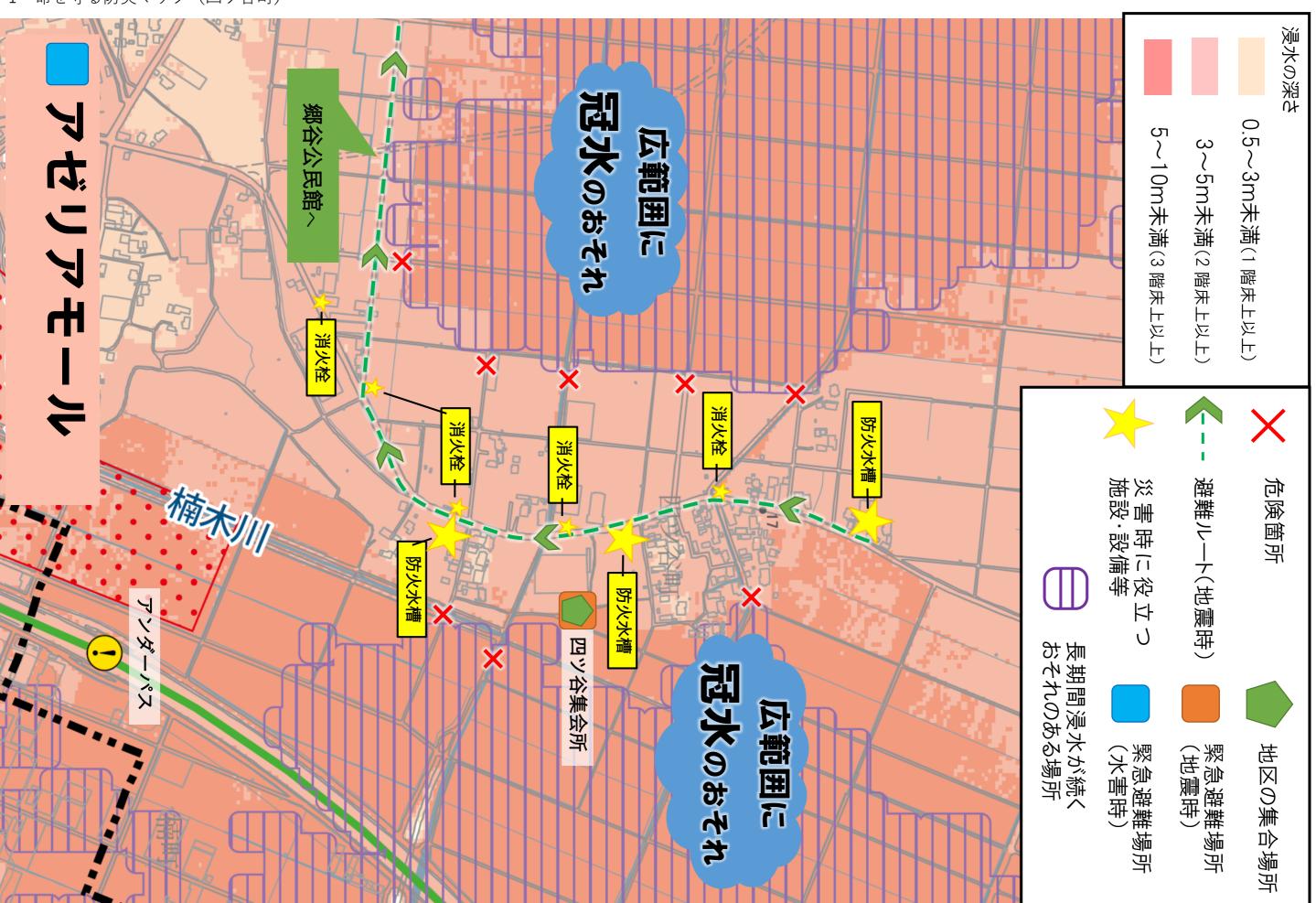
ω











地震編 ~日頃の備えと災害が起きたときの行動をフロー図で確認してみましょう~ ※水害時は館林市ハザードブック P.14~15 を参照 ツときたら、まず身を守る 避難判断 安否確認 日頃の備え 安全確保・状況確認 地震発生 救出・救助 避難 自助 共助 自助 揺れが収まったら 1週間分の備蓄 家にいる 地区住民の 避難所の 安全確認と 地区の集合場所へ 安否確認 開設状況確認 避難準備 帰宅できる 中 帰宅できない 隣近所で 最寄りの 最寄りの 消防団を中心に 声かけあって避難 避難判断 避難所へ 避難所へ 非常持出品の 逃げ遅れ捜索 準備 救出・救助 (薬・眼鏡・ 〈各地区の一次集合場所 一覧〉 〈避難所一覧〉 貴重品等) 瀬戸谷:瀬戸谷公園 加法師:加法師町会館 • 郷谷公民館 (火災や倒壊の危険がなく、 若宮:若宮会館、若宮ふれあい広場 細内:細内集会所 · 第三小学校 自宅が安全な場合) 丸屋敷:第二中、郷谷公民館 本郷:郷谷公民館 ・第四小学校 地区の集合場所・ **自宅避難**可能 四ツ谷:四ツ谷集会所 新田:新田集会所 • 第二中学校 避難所までの 千塚:千塚集会所 田谷:倉庫跡広場 道順を確認 水道や電気・トイレなどが使えなくなることも。 家具の固定・ **、**地震は一瞬のうちに起こるため、事前の備えが第一 十分な備え(備蓄)と孤立する覚悟が必要です 転倒防止策を 阪神淡路大震災では多くのかたが建物の倒壊や家具の転 しよう 倒で亡くなっています

ペットについて

9

災害でペットを守れるのは飼い主だけ。普段のしつけが最も有効な防災対策です。ペットの避難セット(ペットフード・シーツなど)も用意しましょう。





郷谷地区から災害時に犠牲者を出さないために!

鄉會地區の亞克德普勒策

「要支援者」って?

自らで災害から身を守る行動が困難なかた

(寝たきりなどの高齢者、障がい者、乳幼児や外国人など)です。 そのため、家族や地域の協力が欠かせません。

平常時



「お助け名簿」 _{作成・管理}

- 1. 「お助け名簿」作成のお知らせ(各防災会より回覧)
- 2. 防災会役員が、要支援者台帳を基に、要支援者の存在 を把握(「お助け名簿」の作成)
- 3. 防災会役員が、お助け名簿を基に、「同意書」による本人の意思確認
- 4. 地区内で避難支援に協力できる人を決める
- 5. 防災会役員が、お助け名簿の共有・管理





名簿をもとに 声かけ・ 避難支援

- (地震) 1. 要支援者に声かけ
 - 2. 要支援者の避難支援
 - 3. 地区の集合場所で安否確認

〈一緒に避難できなかった場合〉

- 4. 地区の集合場所で人手を確保し、捜索
- (水害) 1. 「避難準備・高齢者等避難開始」発令時には 声かけ
 - 2. 要支援者の避難支援

お助け名簿

(OO地区防災会)

要支援者:郷谷 花子 【避難協力者】 Bさん・Cさん





同意書

私は災害時の避 難誘導・救助活 動に同意します

氏名:郷谷 花子





-緒に避難する時のポイント

高齢者 のかた 傷病者 ・ 緊急 ・ のかた ・ 下記 ・ でき ・ 緊急 ・ 下記 ・ でき ・ 下記 ・ 下記 ・ 下記

- ・ できるかぎり複数の人で対応する。
- ・ 緊急のときは、おぶるもしくは担架で避難する。

・ つえを持つ手と反対側のひじのあたりに軽く触れるか、 腕や肩をかして半歩くらい前をゆっくり進む。

- ・ 階段などの障害物を説明しながら進む。
- ・ 方向や位置は、時計の文字盤の位置で伝える。

耳の ^{不自由なかた}

- ・ 筆談は要点をわかりやすく。
- ・ 手のひらに指先で字を書く方法でもよい。
- ・ 話をするときは、顔をまっすぐ向け、口を大きく動かし ゆっくりと話す。

車いすのかた

- ・ 1人で援助が困難なときは、近くの人に協力を求める。
- ・ 車いすは、階段では 3、4 人で援助する。上がるときは 前向きに、下がるときは後ろ向きに移動する。

外国人のかた

身振り、手振りで話しかけ、孤立させない。